

第32回科学者委員会議事要旨（メール審議）

1 議決日 平成25年10月11日（金）

2 審議内容

提案1 「OECD/GSF ワークショップの後援について」

（10月22日（火）及び23日（水）に政策研究大学院
大学で開催、別添資料）

3 結果

提案1について原案のとおり承認され、幹事会に提案される
こととなった。

OECD/GSF ワークショップの開催につて

2013 年 9 月

1. 実施概要

OECD グローバル・サイエンス・フォーラム(GSF)第 29 回会合が 10 月 24・25 日に文部科学省にて開催されるのにあわせて、GSF において現在検討が進められている科学的助言のあり方に関する国際ワークショップを 10 月 22 日から 23 日にかけて開催する。

これらの国際ワークショップ及びセミナー等の目的は、GSF における検討の今後の方向性について議論するとともに、国際的な議論を通じて科学的助言のあり方に関する相互理解を深め、また我が国の国内においても世界のこうした動きについて認識を広めることである。

(参考) GSF における「科学的助言の質の確保と科学者の役割及び責任」に関する検討の経緯

<経緯>

- ・ 2012 年 10 月、第 27 回 GSF 会合において、イタリアのラクイラ地震に関連した科学者等への実刑判決を受け、科学的助言のあり方に関する検討することについて、その可能性を議論。
- ・ 2013 年 1 月、オランダが検討の実施案を作成、GSF 事務局を通じて各国に提示。同案について議論するスコーピンググループ設置。

(スコーピンググループ参加国: 蘭、EC、伊、独、日本、ポーランド、英、米)

- ・ 4 月 16・17 日 第 28 回 GSF 会合(パリ)において、本検討を次の 2 つのグループに分かれて検討することとなった。

Track1: 科学的助言の規則、手続き、組織(議長国: 蘭、日)

Track2: 科学者の(法的)責任(議長国: 独、伊)

<備考>

- ・ 10 月 24・25 日 第 29 回 GSF 会合(東京)

2. スケジュール等

期間: 平成 25 年 10 月 22(火) ～平成 25 年 10 月 23(水)

場所: 政策研究大学院大学想海楼ホール、1 階会議室(東京都港区六本木 7 丁目 22-1)

(大会会場の利用規定に準拠し、事故防止に備える)

3. 主催

経済協力開発機構(OECD)、文部科学省、政策研究大学院大学

科学技術振興機構研究開発戦略センター

4. WS 主な参加予定者

(海外基調講演者)

・ Marcia McNutt, Editor-in-Chief, *Science*

・ James Wilsdon, Professor, SPRU, University of Sussex

(海外参加者)

・ Michael Turner, President, American Physical Society

- Stephen Goldson, Office of the Prime Minister's Scientific Advisory Committee, New Zealand
- Stefan Michalowski, OECD
- Frédéric Sgard, OECD
- 木村敬子, OECD
- Jack Spaapen, Royal Netherlands Academy of Arts and Sciences
- その他 GSF メンバーが参加予定

(国内基調講演者)

- 原山優子 総合科学技術会議議員
- 大西隆 日本学術会議会長
- 吉川弘之 科学技術振興機構研究開発戦略センター長
- その他文部科学省、政策研究大学院大学、科学技術振興機構研究開発戦略センター及び関係機関等から参加予定

WS 第1日及び第2日のアジェンダ(案)

OECD グローバルサイエンスフォーラムワークショップ
「科学的助言の質の確保と科学者の役割及び責任に関するワークショップ」

平成25年10月22日～23日
開催場所：政策研究大学院大学 (GRIPS)

アジェンダ (案)

10月22日 (火)

1	14:00-14:30	概略紹介 - OECD (10 min) 導入 - 文部科学省 (10 min) 目的 - Track 1&2 co-chairs (5+5 min)
2	14:30-16:10	キーノートスピーチ 科学的助言におけるグローバルな観点 (60 min) - Prof. Marcia McNutt, Editor-in-Chief, Science - Prof. James Wilsdon, Professor, SPRU, University of Sussex 日本における科学的助言の強化 (40 min) - 原山 優子 総合科学技術会議委員 - 大西 隆 日本学術会議会長
	16:10-16:30	休憩
3	16:30-17:55	ディスカッション - 挨拶 吉川弘之 JST-CRDS センター長
	17:55-18:00	閉会挨拶 - GRIPS
	18:15	レセプション

10月23日 (水) (GSF 関係者、招待専門家等)

4	09:00-9:30	調査結果報告 Track 1
5	9:30-10:15	ケーススタディ/具体的事例 Track 1
	10:15-10:45	休憩
6	10:45-12:15	ディスカッション Track 1
	12:15-13:30	ランチ
7	13:30-14:00	調査結果報告 Track 2
8	14:00-14:45	ケーススタディ/具体的事例 Track 2
	14:45-15:15	休憩
9	15:15-16:45	ディスカッション Track 2
10	16:45-18:00	閉会挨拶